

JENESYS2025 日本・マレーシア若手政治関係者交流（招へいプログラム）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

マレーシアの代表（5名）が、日本が様々な社会課題に対してどのように取り組んでいるか、講義、視察、有識者との意見交換などを通じて理解を深めることを主目的として、3月24日～3月28日の日程で訪日しました。一行は京都府と東京都を訪問し、京都府知事選挙の視察や国光あやの外務副大臣への表敬訪問、日本マレーシア友好議員連盟との意見交換等を行い、参加者は各々SNS等を通じてプログラム中の体験や学び、訪問地の魅力を発信しました。

【参加者】マレーシアの若手政党関係者5名

【訪問地】京都府5名、東京都5名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3月17日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「日本理解講義」「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」「日本文化理解（京都）」「日本語」

■ 招へいプログラム：

3月24日（火曜日） 関西国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

【視察】島津製作所 創業記念資料館

【視察】錦市場

3月25日（水曜日） 【テーマ関連講義・視察】京都府知事選挙

①【テーマ関連講義】「選挙の仕組み」

講師：京都府選挙管理委員会 山本 茂樹 事務局長

②【テーマ関連講義】「向日市における選挙の取り組みについて」

講師：向日市総務部総務課 村西 政哉 課長

③【テーマ関連視察】向日市期日前投票会場視察

【表敬訪問】京都府 古川 博規 副知事

【文化体験】京友禅体験

【視察】八坂神社・知恩院

3月26日（木曜日） 京都府から東京都へ移動

【表敬訪問】国光 あやの 外務副大臣

【ブリーフィング】外務省

担当者：外務省 南部アジア部 南東アジア第二課 青木 隆 地域調整官

3月27日（金曜日） 【テーマ関連視察】国会議事堂
 【テーマ関連講義・意見交換】地経学研究所
 「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）実現に向けた経済安全保障」
 講師：相良 祥之 主任研究員
 【意見交換】日本・マレーシア友好議員連盟
 【報告会】
 羽田空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
2026年3月17日【来日前オリエンテーション】	2026年3月17日【来日前オリエンテーション】

招へいプログラム

	
2026年3月24日【視察】 島津製作所 創業記念資料館	2026年3月25日【テーマ関連講義・視察】 京都府知事選挙
	
2026年3月25日【表敬訪問】 京都府 古川 博規 副知事	2026年3月25日【文化体験】 京友禅体験



2026 年 3 月 25 日【視察】
知恩院



2026 年 3 月 26 日【表敬訪問】
外務省 国光 あやの 外務副大臣



2026 年 3 月 26 日【ブリーフィング】外務省



2026 年 3 月 27 日【テーマ関連視察】国会議事堂



2026 年 3 月 27 日【テーマ関連講義・意見交換】
地経学研究所



2026 年 3 月 27 日【意見交換】
日本・マレーシア友好議員連盟



2026 年 3 月 27 日【報告会】



2026 年 3 月 27 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 社会人

京都府選挙管理委員会への訪問は、本プログラムの中でも特に印象深い内容の一つでした。とりわけ際立っていたのは、選挙制度の明確さ、規律性、公正性です。有権者登録から期日前投票に至るまで、全ての手続が高度に体系化され、透明性を確保しつつ、厳格な手順に基づいて運用されていました。

また、期日前投票の準備状況を見学する機会もあり、落ち着いた秩序ある環境の中で、作業が進められていたことが強く印象に残りました。利便性を重視しながらも、正確に、かつ安全に手続を行う仕組みが構築されていることがうかがえました。

さらに、制度面や技術面以上に印象的だったことは、選挙制度全体に対する国民の高い信頼です。これは、一貫した運用、強固な制度基盤、そして長年にわたる規則遵守の積み重ねによって築かれてきたものであると感じました。

今回の経験を通じて、選挙の公正性は単に法律や規則によって支えられるものではなく、制度を支える組織文化、規律、そして国民の信頼によって成り立つものであることを学びました。これらの学びは、マレーシアを含む他の国や地域において民主的なプロセスを強化していく上でも、大変有益な示唆を与えるものでした。

◆ 社会人

国会議事堂では、その壮麗な建築に感銘を受けただけでなく、日本の国会全体の仕組みについて学ぶ貴重な機会となりました。日本は、マレーシアや英国と同様に立憲君主制を採用していますが、本会議の運営や政治の動きには日本独自の特徴があり、より洗練された形で日本文化が反映されていると感じました。

また、議事堂建設に至るまでの歴史的背景や、国会において法案審議がどのように進められているかについても学ぶことができました。

◆ 社会人

日本の政界で活躍されている多くの国会議員や著名な方々と直接お話しする機会をいただき、大変光栄でした。

皆様の豊富な政治経験に基づくお話からは、多くの貴重な学びを得ることができました。あわせて、日本の政治家の中にはマレーシアと深いつながりを持つ方が多くいらっしゃることに、そしてその方々が両国の政治や二国間関係の発展に大きな役割を果たしてこられたことについても理解を深めることができました。

今後は、このご縁を大切にしながら、両国の間だけでなく、それぞれの政党間においても橋渡しの役割を果たし、より一層の協力と相互理解につなげていきたいと考えています。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

東南アジアの方にとって、昨今の経済安全保障政策への関心は高いものの、70～80年代の日本の外交・国際経済政策の知識は限定的であると感じました。そうしたところを含めて理解を広げていくことができればと思います。また、他国の政治セクターへのアウトリーチは、弊所だけでは難しい部分があります。その意味でも、今回の参加者との意見交換は貴重な機会となりました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等



2026 年 3 月 24 日（Instagram）

社会人

仲間と一緒に、日本・マレーシア若手政治関係者交流（JENESYS）プログラムに参加できたことをとても光栄に思います。

今日は、日本文化にたっぷり触れる一日でした。最初に訪れたのは京都駅。京都タワーが美しく映える景色とあわせて、その印象的な建築にとっても惹かれました。

その後は錦市場へ。もともとは魚市場だったそうですが、今では食べ物や骨董品など、さまざまなものが並ぶ活気あふれる場所になっていました。

そして、今日一番印象に残ったのは島津製作所創業記念資料館です。日本の科学技術の近代化に大きく貢献した発明家・実業家、島津源蔵について学びました。小さな家業として始まった事業が、やがて日本を代表する企業へと成長していった歩みは本当に素晴らしく、とても感銘を受けました。充実した一日目が無事終了しました。次のプログラムもとても楽しみです。



2026 年 3 月 25 日（Instagram）

社会人

京都府の古川副知事と、地域行政や政策連携について大変有意義な意見交換を行うことができました。

また、京都府選挙管理委員会との意見交換を通じて特に印象に残ったのは、日本の制度において、政治と利益供与が明確に切り分けられている点です。日本では、政治家が選挙期間中に限らず、有権者に寄付や贈り物をすることが厳しく禁じられており、有権者の側もそれらを求めることは認められていません。

そのため、国会議員には、有権者の問題を個別に解決したり、生活支援を直接担ったりする役割ではなく、法律を整え、政策を設計し、国としての優先課題を議論する役割が求められていることを学びました。

私たちの政治においても、個別の要望対応にどれほど多くの力が注がれているのか、そして本来より重視すべきことは何かを、改めて考えさせられました。真に優れたリーダーシップとは、どれだけ多くを配るかではなく、そうした支援に過度に頼らなくてもよい制度や政策をどれだけの確に設計できるかにあると感じました。

さらに、向日市で実施されていた期日前投票の様子を見学する機会もあり、同市が地方選挙の準備を着実に進めている様子を見ることができました。

 古屋圭司・フォローする 日本・マレーシア友好議員連盟（会長：古屋圭司）主催によるマレーシア若手政治家との意見交換会を開催。	
2026 年 3 月 27 日（日本・マレーシア友好議員連盟 古屋圭司会長の Facebook のリール動画） 日本・マレーシア友好議員連盟（会長：古屋圭司議員）主催によるマレーシアの代表との意見交換会を開催。	2026 年 3 月 31 日（地経学研究所の X） 「【活動報告】3 月 27 日（金）、訪日中のマレーシアの代表 5 名が地経学研究所に来訪しました。」 相良祥之主任研究員からの経済安全保障、FOIP、日マレーシア間の戦略的な協力可能性に関するレクチャーをベースに、活発な議論を行いました。

6. 報告会での訪日成果発表（抜粋）

訪問地：東京都、京都府

- ◆ 日本の近代議会制度が特定の一国を手本としたのではなく、欧米諸国の制度や考え方を組み合わせで構築されたことを学びました。また、小規模な家内工業が技術革新や市場拡大を通じてグローバル企業へ発展していく過程を知り、産業成長の仕組みへの理解を深めました。さらに、期日前投票や不在者投票が一般市民にも広く利用可能であること、高齢社会に対応する多様な取り組み、そして国の安定と発展を支える経済安全保障の重要性について学び、現代社会を考える上で大変有意義な機会となりました。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）